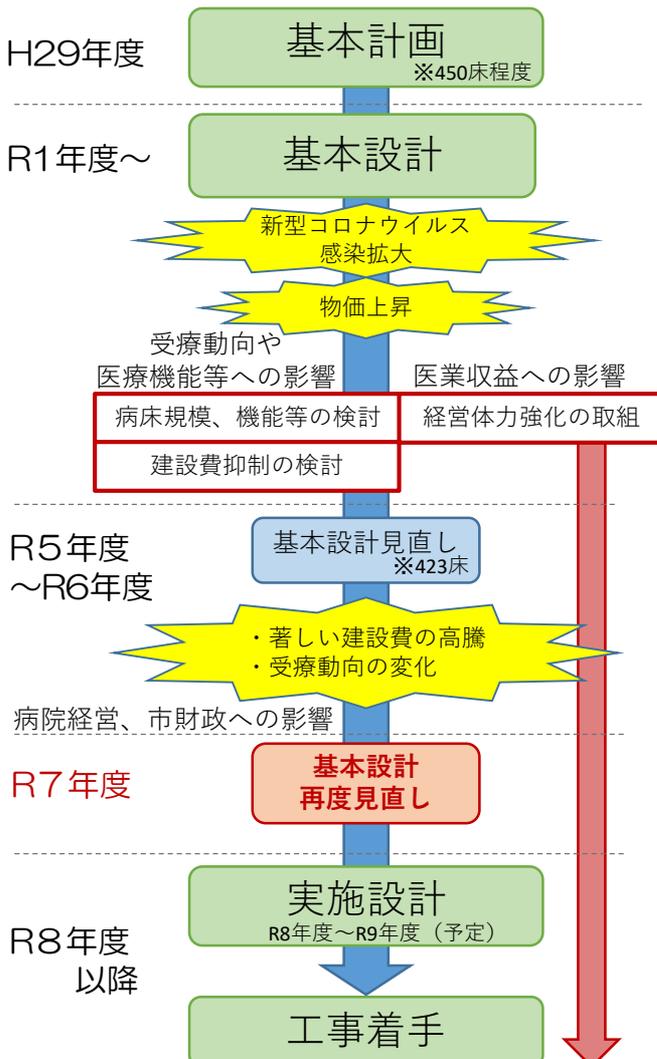


(市立総合病院)

新病院 完成イメージ



- <病院棟>
 - ・鉄骨造(免震構造)
 - ・9階建て(9階は電気、機械室)
- <リニアック棟>
 - ・鉄筋コンクリート造(耐震構造)
 - ・2階建て



受療動向や医療機能等への影響 病床規模、機能等の検討 建設費抑制の検討

受療動向や医療機能等への影響 受療動向の変化

R5年度～R6年度 基本設計見直し内容

志太榛原地域の中核病院として高度急性期・急性期医療や災害医療の需要に応えるため、病院機能の強化、維持をしつつ、以下の見直しを実施した。

- ・病床数：423床
 - ※ 新型コロナウイルス5類移行後の令和5年度の当院の患者動向を踏まえた患者数推計ピークに対応
- ・病棟形状及び可変性のある病室配置へ見直し
- ・各診療部門の合理化及び建物寸法の見直し
- ・手術室数を9室から8室へ見直し
- ・一般レストランの取り止め、講堂規模縮小
- ・心臓カテーテル室の整備
- ・第9次静岡県保健医療計画等に基づき、新興感染症感染患者の受入を想定した施設計画に変更
- ・国、市の省エネ、カーボンニュートラルの取組みへの対応 (ZEB Orientedを目指す)
- ・周辺環境への配慮 (雨水調整池の拡張) 等

今後について

新病院建設事業費を抑制していくため、再度、基本設計を見直す方針

今年度の病床稼働率は新型コロナウイルス感染症流行前の状態まで回復しておらず、受療動向が変化している。また、今回算出した概算事業費は、物価高騰や労務費の上昇により増大しており、このまま事業を進めるにはリスクが大きい。引き続き経営強化プランに基づき経営改善に取り組むとともに、新病院基本設計の再見直しが必要と判断した。